

令和2年度 第5回  
日野市教育委員会臨時会議事録要旨

令和3年（2021年）2月2日

日野市教育委員会

令和2年度第5回日野市教育委員会臨時会

開催日時 令和3年(2021年)2月2日(火)  
20時02分~20時35分

開催場所 506会議室

出席委員 教 育 長 米田 裕治 委 員 高木 健夫  
委 員 西田 敦子 委 員 真野 広  
委 員 東 桜子

欠席委員 なし

議事録署名委員 委 員 真野 広

事務局出席者 教 育 部 長 村田 幹生 教 育 部 参 事 高橋 登  
教 育 部 参 事 谷川 拓也 庶 務 課 長 伊藤 浩一  
学 校 課 長 久保田 博之 ICT活用教育推進室長 青木 真一郎  
生涯学習課長 関 健史 統括指導主事 田村 孝夫

傍聴者 なし

書記 庶務課庶務係長 馬場 康二

議事内容 別紙のとおり

この議事録は事実と相違ないことを認め、ここに署名します。

議事録署名  
委 員 真野 広

議事録署名  
教 育 長 米田裕治

議事内容

協議事項

第7号

緊急事態宣言期間延長における市立幼稚園・小学校・中学校の教育活動  
について

(議事の要旨)

開始 20時2分

[米田教育長]

ただいまから、令和2年度第5回教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の議事録署名は、真野委員にお願いいたします。

本日の案件は、協議事項1件です。

協議事項第7号・緊急事態宣言期間延長における市立幼稚園・小学校・中学校の教育活動について、事務局より説明をお願いします。

○協議事項第7号 緊急事態宣言期間延長における市立幼稚園・小学校・中学校の教育活動について

[谷川教育部参事]

それでは資料1をご覧ください。事務局で緊急事態宣言期間の延長に伴う市立幼稚園・小学校・中学校の教育活動について、考えました案について提案させていただきます。

まず学校運営の基本方針でございますが、引き続き文部科学省および東京都教育委員会が示した感染予防・感染拡大防止対策を実施し「子供たちの学びと育ち」を支える教育活動を継続していきたいと考えております。しかしながら、緊急事態宣言期間が二か月にわたることになりますので、この期間子供たち、教職員は緊張と様々な負担感を感じているのではないかと感じております。日野市教育委員会としましては、学校・保護者・地域の皆様・そして子供たち皆で安心して学び、進級・卒業を迎える環境を整えていきたいと考えております。これを基本方針として提案させていただきたいと考えております。

ただ、基本方針だけを学校・地域の皆様、様々な方にお伝えしましても、やはり気持ちも伝えておきたい部分が大いのではないかと考えております。そこで2番に緊急事態宣言期間の延長に伴い配慮を願いたいこととして、一つ項を設けさせていただいております。緊急事態宣言期間中は、さらに完成予防防止対策の徹底が求められていることは変わりません。こういった時は誰もが大きな不安を抱え、のびのびできない、マスクをつけなければいけないとか、人との間隔をあけなければいけないといったことへの堅苦しさを感じているのではないかと推測をしております。このような時だからこそ皆で乗り越えていきたいという願いを是非皆さんと共有していきたいと考えております。長期間にわたる緊急事態宣言になりますと、経済的にお困りになるご家庭も多いのかなと推察できます。そういうご家庭になりますと子供たちに関わり、育ちに影響があるのではと考えられますので、子供たちの一番近くにいる先生方には子供たちの表情や言葉遣いから心の変化を敏感に感じ取っていただきたいなと思います。子供たちの不安や育ちを支えるという意味からも学校だけで課題を解決するのではなく、日野市の様々な関係機関、地域の方々と連絡を取りながら支えていけるようにしていきたいと考えております。

また新型コロナウイルス感染症への不安から登校できない子供たちもおりますので、

この子供たちの学習環境と心のケアについても、学校に対して更なる丁寧な対応をお願いしたいと考えています。

3番につきましては、今後も新型コロナウイルス感染症の感染予防、感染拡大防止策につきましては継続していきたいと考えております。

続いて裏面をご覧ください。学習活動につきましては、文部科学省の示したマニュアルに基づいて飛沫感染の可能性の高い学習活動は行わない方針です。部活動についても引き続き期間中は中止としていきたいと考えておりますが、子供たち、放課後の部活動が文化部・運動部あわせてどちらも活動できていません。子供たちが不安に感じ、身体を動かしたい、大きな声を出したいという声も届いておりますので、各学校が感染予防・感染防止対策を徹底していただき、全ての子供たちが運動等をできる環境を工夫して設けていただきたいと思います。

続いて学校行事でございます。緊急事態宣言期間が伸びた関係で2月7日以降に予定していた行事等にも影響が出ておりますが、学校は状況を踏まえた上で柔軟な対応を考えているということですので、引き続きこれまでの対策を進めていきたいと考えております。それから昼食や休憩時間における感染症予防策、放課後等における生活指導の徹底、引き続き継続していきたいと考えております。また、家庭における感染症対策も引き続きお願いしたいと考えております。教職員の健康管理につきましても、それから感染状況・学習状況につきましても柔軟に対応していきたいと考えております。私からは以上でございます。

[米田教育長]

政府が本日対策本部を開き、緊急事態宣言を3月7日まで延長する、東京においては3月7日まで延長決定したということに基づいて参事から説明がありました。

質問がございましたら、お願いいたします。

[高木委員]

ご説明ありがとうございました。前回の教育活動として決めたことと、今回延長に伴うことで一部追記等あるわけですが、特に3番目の部活動等についてということで、基本的には全ての部活動は中止ですけれども、今回は子供たちの心身の健康を維持するための項目が追加になっています。1月を振り返って学校現場から子供たちの心身の健康維持の上で問題・課題・要望として具体的な事案があがっていれば可能な範囲で紹介していただきたいです。よろしくお願いいたします。

[田村統括指導主事]

中学校からは子供たちがこの一か月、緊急事態宣言をうけて真面目に我慢を強いられるというところで、しっかりと活動を自粛していたということですが、また一か月伸びるというところで、運動ができない、コミュニケーションがなかなか取れないというところでストレスを感じる子供が非常に多くなってきていると中学校の校長先生方から聞いています。また、ストレスに伴って心身の不調を訴える生徒、保健室で辛いと言う子供も多くはないがいますと訴えられています。中学校の校長先生方から何らか、身体を動かすとか、コミュニケーションをとるような活動を、短時間でもやりたいというような要望がこちらに来ている状況でございます。以上でございます。

[東委員]

一か月の緊急事態宣言がさらに延長というところで、予定されていた学校行事などで影響をうけるものなどで困っているという声は何か聞いていらっしゃいますか。

[谷川教育部参事]

一か月の延長という事がありましたので、もともと1月中に予定していた学校行事等を2月中に移動しているものがございます。例えば展覧会のようなもの、道徳授業地区公開講座のような学校公開が直接的な影響を受けることとなります。また小学校であれば社会科見学等は若干影響を受ける学校がございまして、中学校におきましては修学旅行の代替授業として思い出作りと考えていた遠足のような活動が影響を受けることとなります。学校も3月7日までの緊急事態宣言の延長を予想しておりまして、対策については検討をしています。中学校の特に3年生である思い出作りの遠足等の活動ですが、こちらについては3月7日以降に日程をずらす方向で検討を始めております。旅行社等とも連携をとり対策を進めているということでした。展覧会や道徳授業地区公開講座ですが、道徳授業地区公開講座については、例えばオンラインで保護者だけに見せる工夫はできないかと可能性を模索している学校もありますし、展覧会につきましては中止を検討しなくてはならないのではという声も実はあります。ひのっ子作品展のようにオンラインで開催できないかと検討している学校もございまして。影響は受けておりますけれども、できるだけ子供たちの学習活動を実施できるように、また何かしらの活動を保護者に伝えられることはないかというところで模索しているところでございます。以上でございます。

[米田教育長]

どうぞ質問がございましたら、お願いいたします。

[西田委員]

コロナ感染の不安から登校を見合わせているご家庭はあるのでしょうか。もし教えても構わないのでしたらどの程度の、小中学生でどのくらいの人数がいるのか教えていただければと思います。

[谷川教育部参事]

新型コロナウイルス感染症を直接の理由として登校を控えられているご家庭、3件ございます。新型コロナウイルス感染症と他の理由を併せたこととなりますと5件、学校から聞き取りをしております。すべて合わせますと8件となります。以上でございます。

[真野委員]

基本方針のところに「子供たちが安心して学び、進級・卒業をする環境を整えてまいります」とあります。今回緊急事態宣言は3月7日までとなりますが、進級・卒業に関してなにか懸念事項や考えられることがあれば教えていただければと思います。

[谷川教育部参事]

まず卒業に関することですが、やはり卒業式という大きな行事がございまして。保護者を迎えての卒業式となりますので、感染予防・感染拡大防止対策を徹底して行うことが必要ではないかと考えております。校長先生方とも相談を進めながら、みんなが思い出に残る良い卒業式になるように形を整えていきたいと考えております。

続いて進級についてでございますが、現在小学校1年生から5年生、中学校1・2年生につきましてはまだ来年度があるということもあって、出来ない学校行事等については少し余裕をもって来年度に延期をして実施するというのも考えることもできるのですが、小学校6年生、中学校3年生については新たな進級・進学というのがありますので、子供たちが体験する学習内容をきちんと習得させてあげること、思い出に残るような大切な行事については丁寧に対応していきたいと考えております。小学校では卒業を祝う会や、最後によく計画をされておりますが、そちらについても保護者の方、なんとかして思い出に残る形で実施していきたい。それから合唱コンクール、中学校ではこれを3学期に回している学校も多くございますので、こちらの実施方法についても検討して何かしらの方法がないかと模索していると聞いております。私たちも知恵を出し合って子供たちの思い出に残る行事をきちんと残してあげたいなと考えております。以上でございます。

[米田教育長]

質問がございましたらお願いします。

[東委員]

前回の時から受験生への心の対策を含めて特段のケアを、と話が出ておりましたが、一か月延長により受験本番に入ってくるころです。コロナの感染状況も含めその影響であるとか、なにかありましたら教えてください。

[谷川教育部参事]

学校から問い合わせをしたところ、受験前ですので濃厚接触者等に指定された場合には受験する機会ができないという学校もあります。中学校の受験の場合です。中学受験には代替措置が無い場合もありますので、そちらは丁寧に。高等学校の場合ですが私立の場合3月頭にもう一度受験日を設けるなどして対応してくださっていますので、丁寧に対応されています。やはりそうは言っても受験日に合わせて体調を整えたい、新型コロナウイルスについて、たとえば濃厚接触である等がないようにということで休まれる、登校を控えるというような動きが若干あると聞いておりますが、学校も感染対策を十分にされていますし、マスクを着けて体育をやるだとかこの機会工夫もされております。ですから多くの子供たちは安心して登校し、受験を迎える活動をしております。

[米田教育長]

他にご質問はございませんか。なければご意見を伺います。

[高木委員]

質問に対して回答いただいて十分理解できたわけなのですが、やはり3月上旬まで延長という事になりますと学年末といいますか、卒業を控えた生徒にとっては学校生活の終わりという大事な場面ですし、また学校も、色々と生徒・児童等色々な行事についての対応策を練りながら、検討しながら対応していただいていると聞いているわけですが、はっきり言ってコロナが3月頭で収まるのか、延長期間内に収まるのかと含めると、非常に課題・問題・心配が多いことだと思います。子供たちにとってはコロナそのものを考えると一年以上も続いている、学習や活動に制約を受けながら過ごしてきた年間であったと思います。学習ですとか、色々な仲間たちとの活動のまとめだとかの時期を迎えているわけですが、対処が難しい部分もありますので、先生方も大変かと思いますが生徒・子供たちと十

分なコミュニケーションをとっていただいて生徒・児童が納得感の高い形で全体的な学年末のまとめ等々ができますことをご尽力いただくように是非よろしくお願ひしたいと思います。

[真野委員]

私も今、色々な質問に対して丁寧にお答えいただいたなかで、特に学校現場の要望・課題を取り上げていただいた上で、今回の延長に伴う内容に反映されていると感じました。これから更に約一か月以上延長されるわけですので、よく学校現場の状況を聴いていただいて、決めたことだからということではないと思いますので、常に加えなければならない、変えなければならないことが発生すればその都度対応をお願ひしたいと思います。

またコロナ禍で色々不安だとか緊張とか負担とか色々な言葉が飛び交うわけですが、先日も第一小学校に伺いましたときにお話をさせていただいたのですが、子供たちが一生懸命考えて、このような時ですから自分のことだけで精一杯という感情の中で、医療機関従事者の皆さんに日頃お世話になっている思いをメッセージカードに書いて届けた、それに対して医療従事者の皆さんから暖かい、力が出ますとかありがたいというようなお返事をいただいたとお話を聞いてですね、本当に子供たちの行動が周りの人たちへの思いを巡らせるといいですか、今大切なことだと改めて感じさせていただく思いがいたしました。子供たちもコロナ禍であります、今までにない環境だからこそ、そういう思いを育ててくれている、伝えてくれているというところに、すごいなと思いながら更に応援をしていければと思います。

[西田委員]

先日第一小学校の活動の様子を見させていただきました時に、中休みに一斉に縄跳び運動をしている様子を見せていただきました。約束を守って間隔を開け、マスクをして、それでも一生懸命楽しそうに縄跳びをしているのです。それぞれの小さい子から大きい子供たちまでそれぞれ身体全体を使って運動をしている様子を見てこういう工夫があるのだと実感しました。部活動等のところに子供たちの心身の健康を維持するため、全ての児童・生徒が運動等できる機会を工夫して設けるように、という一稿を起こしていただきましたが、工夫すれば十分出来ることが沢山あると思うのです。子供にとって身体を動かすこと、お互い同士励ましあうことはとても大事なことになるので是非この意図を酌んで学校で色々工夫して子供たちの運動する機会、身体を動かす機会を作っていただきたいなと思いました。

もう一つですけれども、先程コロナの不安から登校を控えている事例があるのかと質問いたしましたらば、8件あるとお答えいただきました。さらにこれから延長になるというともう少し増えていくのかなと心配もあります。今までも十分学校はそれぞれの学習及び心の問題についても対応してきていただいていると思いますが、更にここに登校できない子供たちの学習環境及び心のケアにつきましても、更なる丁寧な対応をお願ひする項目をあげていただきましたので是非今後とも意図を酌んで学校でも更に対応していただきたいと思います。

[東委員]

大体一年経つわけですが、緊急事態宣言当初の方針が出た時に教育委員会としてこれから生み出されていくものを皆の共有財産にしよう決めて本当にその通りになってきたと



この一年を通して各校の工夫を様々見させていただいて、共有して、子供たちと工夫をして創りあげていく学校というものを見させていただきました。ここに来てまた緊急事態宣言の延長ということで、時期的には卒業関係のある3学期ということで、学校だけでなく地域の方々が学校を利用することも含めて非常に大切な時期ではあるので、その方たちも含めて大切に気持ちに寄り添って丁寧に対応していただきたいと思います。

また緊急事態宣言も何回目かという事になると、生活が困窮するご家庭もでてくると思います。職を失ってしまったりですとか、シングルマザーさんもすごくご苦労されていたり、非正規の方が切られたりという状況になっておりますので、特段のご家庭のヒアリングを大切にさせていただいて丁寧な心のケアをしていただけたらと思います。

何度も申しておりますが、一年経ってきて、オンラインを試されている学校も増えてきました。やはり GIGA を待っているだけではなく今が必要に迫られた時なので、是非チャレンジをして、保護者に見せる機会を作ったり、面談をする機会に使ったり、学校に来られない子供に授業を見せたりのチャレンジを試してみたいと思います。これからも皆で力を合わせていきたいと思います。以上です。

[米田教育長]

各委員さんが大切なこととお話しいただきました。ありがとうございます。やはり2月ですね、子供たちの心をくみ取る形をアンケートなのか、違う形なのかしっかりやっていきたいと思います。日頃の状況の変化をくみ取るという形も大事ですけど、子供たちが出せる、出せるアンケートというのかな、そういうことをきちんとやっていきたいと思います。これがまず一つです。

それから学校運営の基本方針の中にある「幼児・児童・生徒及び教職員は緊張と負担がいられております」ということです。子供と同じくらい教職員も子供と同じ環境に居るところに僕らは想いを馳せたいと思います。なかにはご家族で介護をされている方、子育てをされている方、ご自身が健康に不安を持っている教職員の方もいらっしゃいますので、そういった教職員の状況も酌みながらですね、安心して学校の活動が子供も教職員もできるような最大限の努力をしたいと思います。

あわせて今年、4月から色々なことがあったけれども、三次構想の方針を、一番皆で力をあわせてやっていただいたと思います。年度の最後にまた一か月延長ということですが、2学期で見せた姿を、また3学期は3学期なりに学校は子供たち・先生・地域・保護者と一生懸命展開してくれると思いますので、教育委員会はしっかりそこを支えていきたいと思います。

他にご意見はございませんか。

[西田委員]

今の教育長の言葉に重なるのですが、本当に緊急事態宣言長期間にわたりました。昨年の1月の末に新聞がトップで新型コロナ感染について報道してからずっと学校はそれに対応して、しかもより良い教育活動を色々工夫しながら進めてきました。再度延長ということで、教育長もおっしゃいましたが、教職員の方たちの緊張感とそれから色々な意味での負担感が大きいと思います。学校に伺ったとき、明るく児童・生徒に接していましたが、一人ひとりの心の内はかなり疲労感があると思いますので、その辺をしっ

かり支えて、教職員の声もしっかり受け止めて聴いていくという努力を私たちはしていきたいと思えます。

[米田教育長]

他にご意見はございませんか。よろしいでしょうか。なければ、協議事項第7号を終了いたします。

(「異議なし」の声あり)

[米田教育長]

以上をもちまして、本日の案件はすべて終了いたしました。

これにて、令和2年度第5回教育委員会臨時会を閉会いたします。

閉会 20時35分